



# 感震センサーユニット

## 各部の名称とはたらき

### ES-PTの例

#### ランプ

- 通常時 緑色に点灯します。
- 地震波を感じると 赤色に点滅します。
- テストボタンを短押しすると 赤色に点滅します。

#### 外部警報出力端子(遠結端子)

#### ブザー

- 地震波を感じると鳴動します。
- テストボタンを短押し(2秒未満)すると鳴動します。

#### プラグイン端子

#### テストボタン

ボタンを押すことで感震動作機能をテストします。

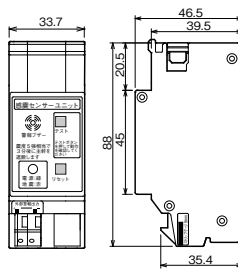
#### リセットボタン

ボタンを押すことで感震動作を解除します。ブザーの鳴動とランプの点滅を停止します。

#### 擬似漏電出力線

#### タブ端子

### 外形寸法図(ES-PTの例)



AWG16 1.25mm<sup>2</sup> 長さ750mm

(株)ニチフ端子工業  
TMDN 630809-FA

### ES-BXの例

#### 感震動作ランプ

- 地震波を感じると赤色に点滅します。
- テストボタンを短押しすると赤色に点滅します。

#### 電源ランプ

- 通常時 緑色に点灯します。
- 停電時 消灯します。

#### リセットボタン

ボタンを押すことで感震動作を解除します。ブザーの鳴動と感震動作ランプの点滅を停止します。

#### テストボタン

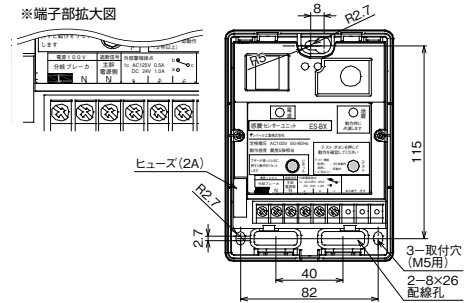
ボタンを押すことで感震動作機能をテストします。

#### ブザー

- 地震波を感じると鳴動します。
- テストボタンを短押し(2秒未満)すると鳴動します。

### 外形寸法図(ES-BXの例)

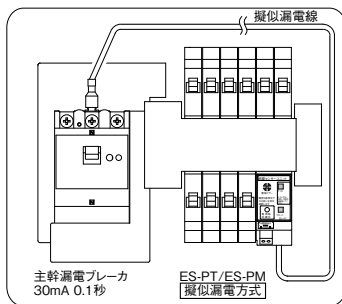
※端子部拡大図



## 主幹漏電ブレーカへの接続方法(擬似漏電線)

### ■パールテクト、パールミニへの取り付け(ES-PT/ES-PM)

主幹漏電ブレーカへの電源入力線に手を加えずに取付・接続することが可能です。

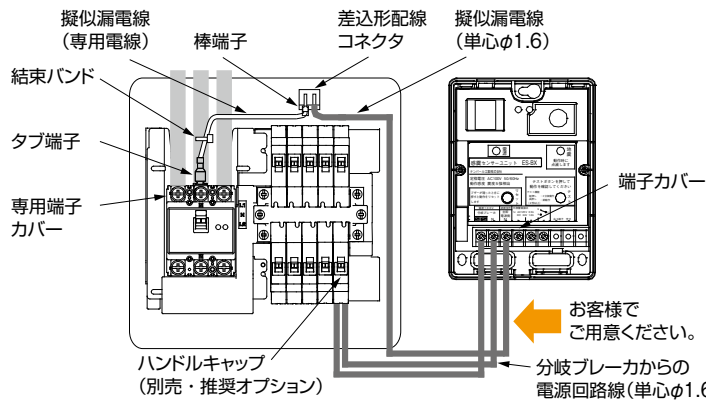


#### ■工事のながれ■

- ①主幹漏電ブレーカをOFFにする。
- ②ES-PT/ES-PMを取り付ける。
- ③擬似漏電線にメールタブ端子を取り付ける。
- ④主幹漏電ブレーカの電源側N極端子ねじを外して、代わりに専用ねじで、③のメールタブ端子を取り付ける。
- ⑤GBU-\*\*\*ECの場合は、専用端子カバー(EC用)を取り付ける。

### ■別置きタイプの取り付け(ES-BX)

ES-PT/ES-PMが取り付けできない場合に、分電盤近傍に取り付けて感震機能を実現できます。

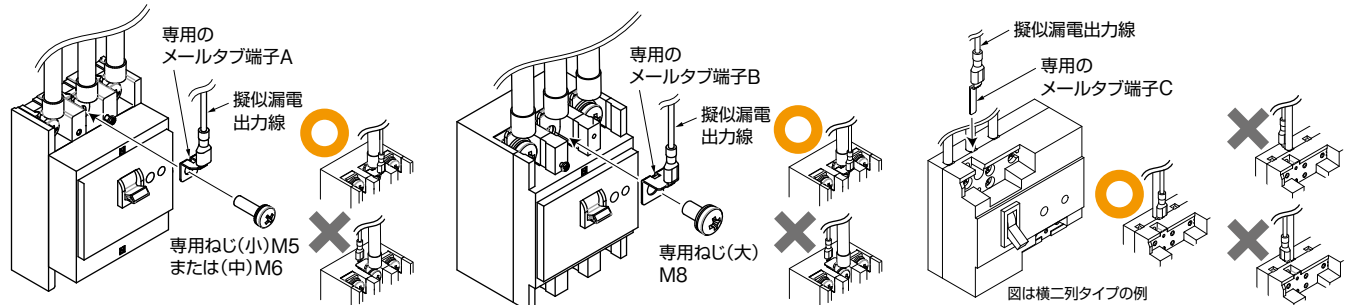


#### ■工事のながれ■

- ①主幹漏電ブレーカをOFFにする。
- ②ES-BXを分電盤近傍に取り付ける。
- ③付属の擬似漏電用の専用線と、本体の擬似漏電出力端子に接続する単心の電線を、付属の差込形コネクタで接続する。
- ④擬似漏電線にメールタブ端子を取り付ける。
- ⑤主幹漏電ブレーカの電源側N極端子ねじを外して、代わりに専用ねじで、④のメールタブ端子を取り付ける。擬似漏電線に分電盤外から余分な力加わらないようN相の電線と結束バンドでまとめる。
- ⑥電源用分岐ブレーカからの配線および、擬似漏電線を本体に接続する。本体の端子カバーを取り付ける。
- ⑦GBU-\*\*\*ECの場合は、専用端子カバー(EC用)を取り付ける。

### ■主幹漏電ブレーカへの接続例

主幹漏電ブレーカの種類に応じたそれぞれ専用のメールタブ端子と専用ねじを付属していますので、図を参考に取付けてください。専用ねじは黄色にしてあり区別できます。



40A、50A、60A  
主幹漏電ブレーカの例  
GBU-53-1HEC  
GBU-63-1HEC

75A、100A  
主幹漏電ブレーカの例  
GBU-73-1HKC  
GBU-103-1HKC

30A  
主幹漏電ブレーカの例  
GBU-3-1HEA